



中国日本商会

今どきコラムー68

中国雑談

未来のモビリティを求めて - 9月に杭州でGFM2018

自動車産業に前代未聞の変革の大波が起きている中で、中国はこれまでの追いかける立場から世界的な新エネルギー車産業発展のトレンドに重要な影響を与える立場に変わつつあります。

一面において、中国では新勢力の自動車製造業参入の勢いはますます激しくなり、主流の自動車メーカーが続々と続き、新エネ車に対する強力な支援政策のギアアップによって、市場のギアアップを始動しています。また他方、それに伴って電動化、インテリジェント化、インターネット化、シェア化を融合する傾向がますます強まり、中国はすでにグローバル・モビリティ産業の革新、レベルアップに最も燃えているブロックになっています。

こうした背景下、モビリティ産業のジャンルを越えた融合トレンドに立脚した大会ーグローバル・フューチャー・モビリティ・コンファレンス（Global Future Mobility Conference＝GFM）が誕生しました。第1回大会は昨年、杭州で成功里に開催され、今年は第2回GFM 2018が9月20～23日、再び杭州で開かれます。

GFMは中国自動車産業界で最も権威があり、最も影響力が大きいシンクタンク・プラットフォームである中国電気自動車100人会（China EV 100）の主催です。同会は自動車産業関連の官・産・学・研の最も先端的な陣容を結集し、ここ数年、大型フォーラム、産業調査・研究、行政と企業との連携などの方法を通じて、数多くの顕著な成果を挙げています。



GFM 2018はモビリティ産業界の重要なジャンルをカバーする20のテーマ別フォーラムを予定しています。

筆者は大会事務局メンバーの一人として、現在、中日新エネルギー産業ハイレベルシンポジウムの準備を積極的に推進しています。このシンポには中日両国を代表する企業経営者および専門家、マネジメントサービス機関を招へいし、共同で産業技術のトレンドおよびどのようにして両国間の協力を強化すべきかについて討論します。

昨年開かれた第1回GFMの大型革新展にはBMW、テスラ、吉利（ジーリー）、北汽新エネルギー、長安汽車、奇瑞汽車（チェリー自動車）、江淮汽車（JAC）、上海蔚来汽車（NIO）、威馬汽車（WMモーターズ）、知豆（ZDEV）、長江汽車、零跑（LEAPMOTOR）、沃特瑪（Waltmal）、多氟多（DFD）、百度（バイドゥ）などを含内外の新エネルギーとインテリジェント・ネットワーク分野のリーディング企業92社が出展し、8000人余の専門家を含む5万人近い観衆が参観しました。

GFM2017の状況とGFM 2018の応募用URL: <http://www.gfm.mobi/>

『日本企業リーダー必読』編集長

